



NATURAL SOUND SPEAKER SYSTEM

NS-U40P

取扱説明書

このたびは、ヤマハスピーカーシステムNS-U40Pをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

NS-U40Pの優れた性能を十分に発揮させると共に、未永くご愛用いただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

お読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

本取扱説明書には、安全にお使いいただくために、関連機器(アンプ)を含めた取扱上のご注意等も一部記載されております。



保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きをおこなってください。保証書に販売店名、購入日などがないと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、十分ご注意ください。



音楽を楽しむエチケット

これは日本電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

目次

△安全上のご注意

(安全に正しくお使いいただくために).....	2
参考仕様.....	2
設置について.....	3
アンプとの接続.....	5
ヤマハホットラインサービスネットワーク.....	裏表紙



ご使用前に必ずお読みください。



安全上のご注意 (安全に正しくお使いいただくために)


ご使用前に必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。




またお読みになったあと、いつでも見られる所に必ず保存してください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。








絵表示例  気をつけなければならない内容 (危険・警告・注意) を表しています。
たとえば  は「感電注意」を示しています。

 してはいけない「禁止」を表しています。
たとえば  は「分解禁止」を示しています。

必ずしなければならない行為を表しています。
たとえば  は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示しています。

 警告	
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	
	本機の重量は0.3 kgあります。本機を天井や壁に取り付けてご使用される場合は、ネジを止める場所にしっかりとした壁または柱を選んでください。本機の重量を十分に支えることができない場所に取り付けると、本機が落下した場合大ケガの原因となります。 薄いベニヤ板の壁や石こうボード等の柔らかい壁などには取り付けしないでください。木ネジが抜けてスピーカー本体の落下による大ケガやスピーカー破損の原因となります。
	スピーカーコードを足や手に引っかけて本機を落下させることのないように、コードは必ず壁等に固定してください。 取り付け後は必ず安全性を確認してください。またその後、定期的に落下の可能性がないか安全点検を実施してください。取り付け箇所、取り付け方法の不備による事故等の責任は、当社では一切負いかねますのでご了承ください。

* 本機は防磁設計となっておりますが、コンピューターのモニターやテレビの近くに設置すると画像が歪むことがあります。そのような場合は、離してご使用ください。

 注意	
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。	
	風呂場では使用しないでください。故障の原因となります。
	本機のユニットは絶対に外さないでください。故障の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。 本機を改造しないでください。故障の原因となります。
	ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。 特にお子様が上に乗ったり、ぶら下がったり、寄りかかったりしないように、十分にご注意ください。直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えます。 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えます。
	移動させる場合はアンプの電源スイッチを切り、接続コードを外してから行ってください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
	接続する場合は各々の機器の取扱説明書をよく読み、アンプの電源を切り、説明に従って接続してください。
	長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、故障の原因となることがあります。

参考仕様

型式	フルレンジ、防磁型	寸法(幅)×(高さ)×(奥行き)	70×95×118 mm
スピーカーユニット	5 cm コーン型	重量	0.3 kg
インピーダンス	4	付属品	スピーカーコード(3 m)×3 スピーカーコード(7 m)×2 ケーブルホルダー×1 パッド×20 固定用テープ×1
再生周波数帯域	120 Hz ~ 25 kHz		
最大入力	50 W		
許容入力	15 W		
出力音圧レベル	82 dB		

* 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

設置について

本製品は、ホームシアターの音場再生用に最適な同型フルレンジスピーカー 5 台のセットです。

サラウンド再生の場合、フロントスピーカー用として前方左右に 2 台。センターに 1 台、さらに、サラウンドスピーカー用として後方左右に 2 台設置します。

各スピーカーの配置

スピーカーの配置は、システム全体の音質に大きく影響するため重要です。以下の説明にしたがい、各スピーカーを適切な位置に設置してください。

* スピーカーは壁に掛けることもできます。

フロントスピーカー

従来のステレオ再生と同様に、左右のスピーカーをリスニングポジションから等距離に設置します。モニターを設置している場合は、モニターの両脇に設置してください。

サラウンドスピーカー

リスニングポジションよりも後方、または部屋の両サイドに設置します。お部屋の状況に合わせて、床や棚に置いたり、壁に掛けることもできます。

通常は耳よりも高い位置に設置します。

センタースピーカー

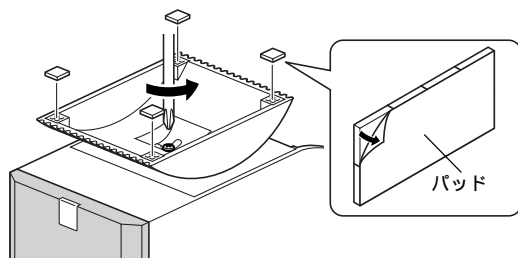
左右フロントスピーカーの間(各フロントスピーカーから等間隔の位置)に設置します。

* センタースピーカーをモニターの上に設置する場合は 4 ページをご参照ください。

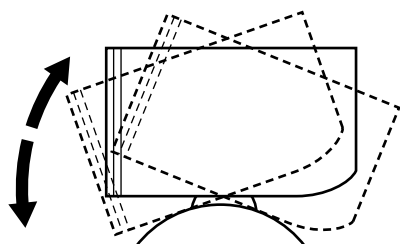
スピーカーの角度を調整するには

1 スピーカースタンドを取り付けているネジを、スタンドが動く程度にゆるめます。

* すべり防止のため、スピーカー底面の四隅に付属のパッドを貼り付けます。



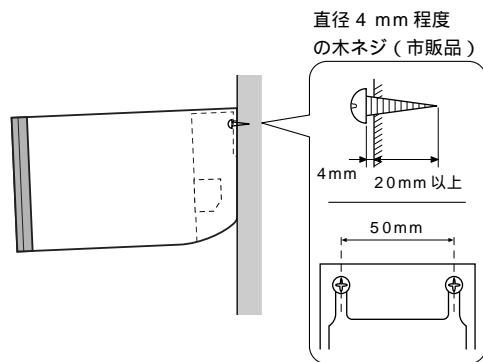
2 スピーカーを適切な角度に調整し、ネジを締め直します。



スピーカーを壁に掛けるには

スピーカーを取り付ける壁側に 2 本の木ネジ(市販品: 直径 4 mm 程度)を 50 mm 間隔にて取り付けます。スピーカー背面の細長い切り込み部を木ネジに引っ掛けます。

* 切り込み部が木ネジに確実に掛かっていることを確認してください。



ご注意

(重要なご注意です。必ずお読みください。)

スピーカーの重量は 1 台約 0.3 kg です。ネジを止める場所には、しっかりとした壁または柱を選んでください。モルタルや化粧ベニア板など、はがれやすい材質の壁には取り付けしないでください。ネジが抜けてスピーカーが落下するとけがの原因になります。

釘などの抜けやすいものは使用しないでください。長時間の使用や振動で抜けてスピーカーが落下するとけがの原因になります。

スピーカーコードを足や手に引っかけて本機を落下させることのないように、コードは必ず固定してください。取り付け後は必ず安全性を確認してください。

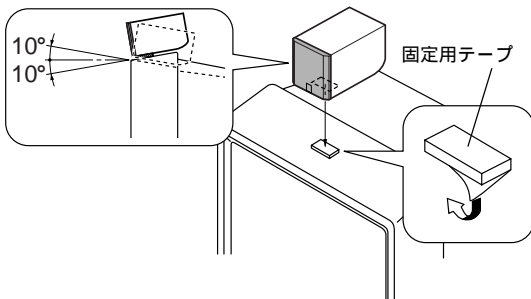
取り付け箇所、取り付け方法の不備による事故等の責任は、当社では一切負いかねますのでご了承ください。

センタースピーカーをモニターの上に設置するには

付属の固定用テープを使用して確実に固定する方法

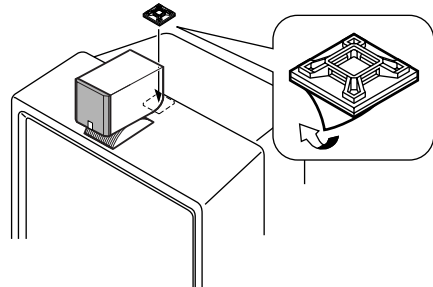
スピーカーからスタンドを取り外し、付属の固定用テープを図のようにスピーカー底面とモニターの上面に貼り、確実に固定します。

- * スピーカーをモニターの上に設置する場合はこの方法をお勧めしますが、モニターの画像に色ムラが生じた場合や、スピーカーの角度を調整する必要がある場合はスタンドを取り付けた状態で設置することも可能です。(右記参照)
- * モニターの上面が傾いている場合、もし傾きが水平面に対して 10° 以上ある場合は、モニターの上には設置しないでください。

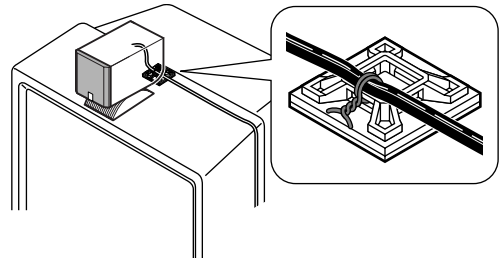


スタンドを取り付けた状態での設置方法

- 1 あらかじめモニター上面をきれいにふき、付属のケーブルホルダーから裏紙をはがしてモニターの上面にしっかり押しつけて貼ります。



- 2 下図のようにピンタイ (付属のスピーカーコードを束ねていたもの) を使用して、スピーカーコードをケーブルホルダーにしっかりとくり固定します。



メモ

スピーカーは防磁設計となっていますが、コンピューターのモニターやテレビの画像が歪む場合は、スピーカーを離してご使用ください。

アンプとの接続

接続は、必ずアンプの電源を切っておこなってください。

付属のスピーカーコードを使用してスピーカー背面にあるプッシュ式入力端子とアンプのスピーカー出力端子を接続します。

付属のスピーカーコードは片側に白い破線表示があります。白い破線側のコードを使用して、アンプとスピーカーそれぞれの(+)端子をつなぎます。同様に破線のない側のコードを(-)端子につなぎます。

アンプの左端子(L)に片方のスピーカーをつなぎ、もう片方のスピーカーを右端子(R)につなぎます。

* 付属のスピーカーコードには、識別表示用ラベル(下記参照)が付いています。各コードの識別表示を確認し、それぞれを、対応するスピーカーに使用してください。

- FRONT L 左メインスピーカー用
- FRONT R 右メインスピーカー用
- CENTER センタースピーカー用
- REAR L 左サラウンドスピーカー用
- REAR R 右サラウンドスピーカー用

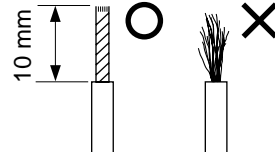
本スピーカーシステムをマルチチャンネルアンプ(RP-U200等)に接続してご使用になる場合は、必ずサブワフー(YST-SW45等)もあわせてご使用ください。

また、マルチチャンネルアンプ側または入力機器(DVDプレーヤー等)側にて「スモールスピーカーモード」に設定ください。

「ラージスピーカーモード」に設定しますと、低域成分の過大入力により音が歪んだり、スピーカー破損の原因になります。

スピーカーコードのつなぎかた

- ① スピーカーコード先端の絶縁部を10 mm位はがし、芯線がバラけてショートしないよう、指でしっかりよじります。



- ② スピーカー端子のツマミを押し下げ、端子穴にスピーカーコードの芯線部分を差し込みます。指をツマミから離すとコードがロックされます。
- ③ 確実にスピーカーコードが固定されたか、コードを軽く引っ張って抜けないことを確認します。

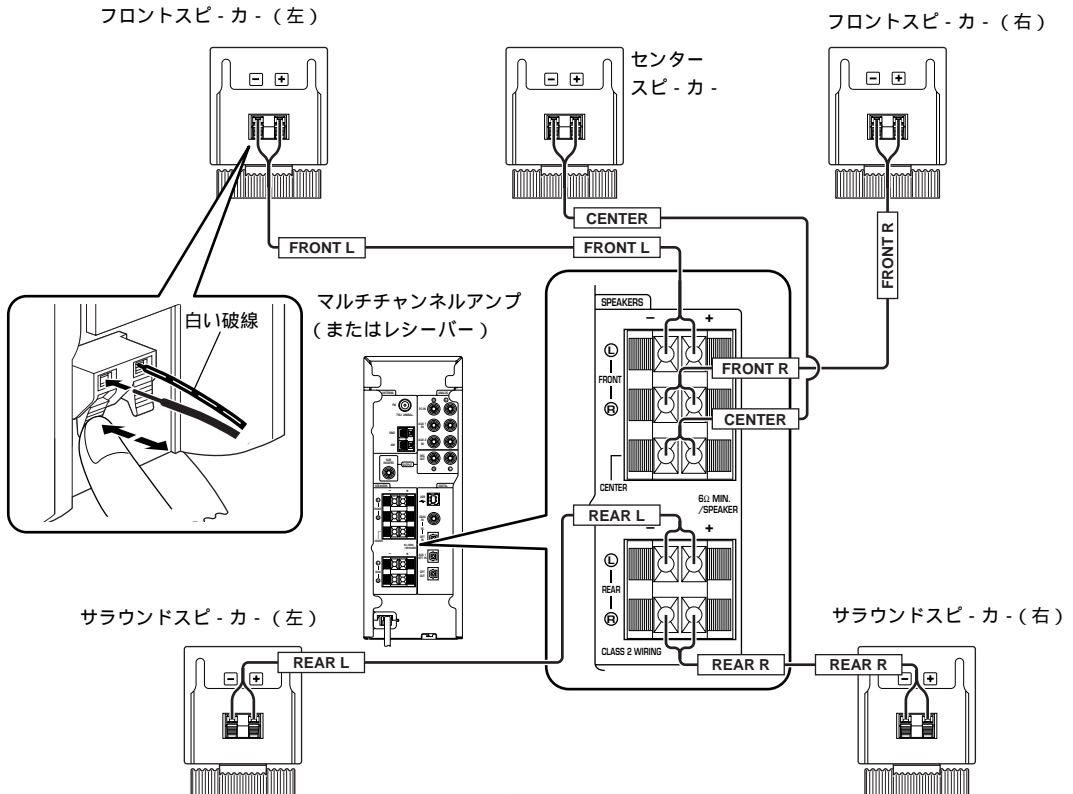
ご注意

スピーカーコードはプラス(+)とマイナス(-)を間違えないように接続してください。

スピーカーコードはプラス(+)とマイナス(-)がショート(接触)しないように、しっかりと差し込んでください。しっかり差し込まれていないと、音が出なかったり、雑音が出たり、スピーカーをいためる原因となります。スピーカーコードの絶縁部がはがれた部分を互いに接触させないでください。スピーカー、アンプの損傷の原因になります。

スピーカーコードは芯線部分だけを端子の穴に接続します。コードの絶縁部分(ビニール)まで差し込むと音は出ません。

スピーカーコードは手や足に引っかからないよう、固定してください。



ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただけるためのものです。サービスの依頼、お問い合わせは、お買上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

保証期間

お買上げ日より1年間です。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご希望により有料にて修理いたします。

修理料金の仕組み

技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。

技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年(テーブルデッキは6年)です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エイジングの差による音色の違いが出る場合があります。

摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお勧めします。

摩耗部品の交換は必ずお買上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュウムコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。



ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中沢町10-1

AV国内営業部 TEL (053) 460-3451

AV・IT品質保証部 TEL (053) 460-3405

住所および電話番号は変更になることがあります。

ヤマハAV製品の機能や取扱いに関するお問合せは

お客様ご相談センター

TEL (03) 5488-5500

ご相談受付時間 10:00~12:00, 13:00~17:00
(土・日・祝日及び弊社が定めた日は休業とさせていただきますのであらかじめご了承ください。)

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問合せは

(ヤマハ電気音響製品サービス拠点)

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
TEL (011) 512-6108

仙台 〒984-0015 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F
TEL (022) 236-0249

首都圏 〒211-0025 川崎市中原区木月1184
TEL (044) 434-3100

浜松 〒435-0016 浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内
TEL (053) 465-6711

名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2-1-2
ヤマハ(株)名古屋流通センター3F
TEL (052) 652-2230

大阪 〒565-0803 吹田市新芦屋下1-16
ヤマハ(株)千里丘センター内
TEL (06) 6877-5262

広島 〒731-0113 広島市安佐南区西原6-14-14
TEL (082) 874-3787

四国 〒760-0029 高松市丸亀町8-7
(株)ヤマハミュージック神戸 高松店内
TEL (087) 822-3045

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL (092) 472-2134

愛情点検



永年ご使用のAV機器の点検を!

こんな症状はありませんか?

電源コード・プラグが異常に熱い。
コゲくさい臭いがする。
電源コードに深いキズが変形がある。
製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
電源を入れても正常に作動しない。
その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。